

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 元年 11 月 15 日

事業所名 放課後等デイサービス あゆみの里 保護者等数(児童数) 18 回収数 14 割合 77 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	1	0	1	活動中をみたことはないので。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5	3	1	5	何人に対して職員が何人ですか。職員が何人いるのか、わからない。男児が多いので、男性職員さんが増えたら良い。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	1	0	1		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	13	0	0	1		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	1	0	2		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	1	6	4		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1	0	0	無回答1	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	3	0	0	遠慮なく言ってほしい。小さいことでも、その日の出来事を伝えてほしい。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	4	3	1		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	5	5	1		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	1	5		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	2	0	1		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	4	3	2	5		
14 個人情報に十分注意しているか	13	1	0	0			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	1	1	7		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	0	0	7		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	10	1	1	2		
	18 事業所の支援に満足しているか	12	2	0	0		

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 元年 11 月 15 日

事業所名 放課後等デーサービス あゆみの里

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0		
	2	職員の配置数は適切である	3	1		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1		
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	1		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	2		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2	0		

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	0		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	4		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	1		
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	3		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0	1		
	35	個人情報に十分注意している	4	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	0		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	2		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0		

## 保護者向け 放課後等デイサービス評価表

①・活動中の様子を見たことがない。

**対応**・・・施設内の見学をご希望の際は、ご連絡いただければ調整させていただきます。

(配慮が必要なお子様がおられますので、事前にお知らせ下さい。)

②・職員が何人いるのか分からない。

・子ども何人に対し、職員は何人か分からない。

・男児が多いので、男性職員さんが増えれば良い。

**対応**・・・国の基準では子ども 10 名に対し職員 2 名以上、11 名～15 名の場合は職員 2 名+1 名となっております。現時点で児童発達支援管理者 1 名、児童指導員又は障害福祉サービス経験者 4 名で運営しております。兼ねてからご要望がございました、男性職員に際しましては、本年度 1 名配置しました。女兒には女性スタッフが関り、男児に女性スタッフが支援する際は配慮して関わるようにしています。

⑥・**対応**・・・子ども達の様子を見る中で、現時点では難しい。他機関との交流より、事業所内での人との関りの機会を積み重ねていく。その結果によっては交流を検討していく。

⑧・遠慮なく言ってほしい。小さいことでも、その日の出来事を伝えてほしい。

**対応**・・・日々の連絡帳でお知らせすることでは、伝わりにくいこともあるかも知れません。子ども達の安全面への配慮から一人ひとりの方とゆっくり話す時間がとれないこともあります。スタッフが伝えたいことがございましたら、ご遠慮なく申し出下さい。

⑨・**対応**・・・ご希望に応じて面談の場を設けることを検討する。

⑩・**対応**・・・保護者からのご要望があれば、会の立ち上げを検討する。

⑪・**対応**・・・苦情があった場合は職員間で周知し、対応する改善に向けての対策を保護者に伝える。

⑬・**対応**・・・ホームページにアンケート結果だけでなく、ご意見を踏まえた対応を提示する。

⑮・**対応**・・・保護者向けに作成し提示する。

⑯・**対応**・・・予定表に記入し、訓練することを知らせる。

⑰・**対応**・・・原因を保護者と探り、対策を一緒に考える。

⑱・**対応**・・・ご満足いただけるよう、日々保護者の方と話し合いながら支援していく。

## 事業者向け 放課後等デイサービス評価表

- ②・基準は満たしているが、子どもの様子や利用状況に応じて他部署から応援をお願いしている。
- ⑪・月 1 回の職員会議もしくは随時、課題時の個々の様子を話し、内容を考えていく。
- ⑫・子どもが見通しを持てるよう 1 日の流れを固定化し、内容は個々により変えている。
- ⑬・毎日ではないが、共通理解が必要なことは口頭もしくは書面で確認し合っている。
- ⑭・長期休暇に日頃行うことが難しい。公共施設の利用者等を組み入れ、できるだけ様々な経験の場を設けるようにしている。
- ⑮・利用開始に向けて保育所訪問をし、情報を得て支援に繋げている。
- ⑯・相談員を介して情報提供をしている。
- ⑰・定期的ではないが、研修に参加している。
- ⑱・共通理解できるよう保護者への発信をしている。
- ⑲・子ども・保護者参加の研修(実践型)を予定している。
- ⑳・改訂の都度、説明している。
- ㉓・マニュアルはあっても、保護者に周知しているか分からない。職員間のみで、保護者向けに作成し提示していくようにする。
- ㉔・アレルギー対象児がない。